

安心で住みよい町に！

議会だより

# ガウラ

No. 63

2013. 4. 30発行

思いきった定住対策 ————— ②

「マラソン議会」7月からスタート ————— ④

**救急体制を充実** ————— ⑥

交通弱者対策を問う ————— ⑦▶⑮

伝統を受け継ぐ ————— ⑮

25年度予算を可決

定住対策に積極予算 **3,744万円**

四国初!

18歳まで無料

(子どもはぐくみ医療費助成)

3月  
定例会

3月定例会は8日から22日まで開き、24年度各会計補正予算8件、条例の改正など16件、25年度各会計当初予算9件が提案され可決しました。  
また、追加議案として、「通年の会期制」導入に向けた条例、規則の改正など5件、意見書1件が提案され可決しました。  
一般質問には9議員が町の政策などを問いました。

一般会計当初予算 **35億6,200万円**

主なもの

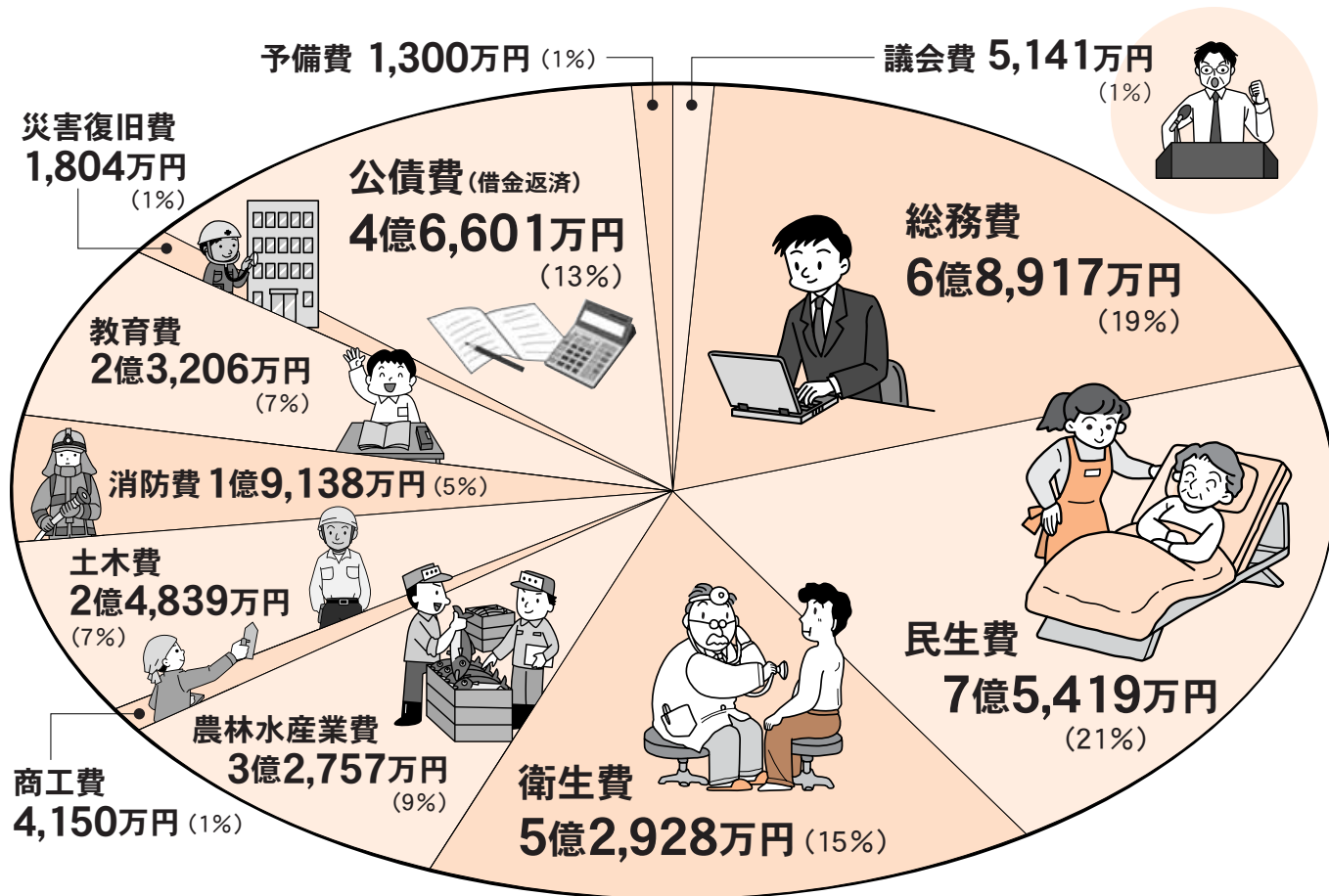
- \* 定住促進賃貸住宅家賃助成 …… 3,744万円
- \* 子どもはぐくみ医療費 …… 1,641万円
- \* 簡易水道特別会計繰出金 …… 1億8,066万円  
(川北水道新設工事等)
- \* クリーンセンター解体工事費 …… 1億4,000万円
- \* 林業専用道開設工事費 …… 5,300万円  
(ぼらおとがりいし 婆羅尾～尖石線)
- \* 町単道路改良費 …… 5,000万円
- \* 救急患者輸送車購入費 …… 2,700万円



当初予算に質疑

- 美馬議員** ごみ収集場所が遠く、高齢者のなかには運ぶのが負担となっている。今後、増やす考えは。
- 岩佐住民課長** 地元で場所の確保など協力が得られれば、増やすことはできる。
- 山野議員** 「消防救急デジタル無線」の工事内容は。
- 伊丹企画総務課長** 無線統一化に向けて上勝町、佐那河内村と協同で事業を実施するもので、総事業費は2億7000万円である。
- 森本議員** 広域農道整備事業が遅れているが、状況は。
- 柳沢建設課長** 24年度は、予算1億5400万円、25年度は、1億4000万円を要望し、中山工区の橋の取り付け、舗装。坂本工区の路床工を計画している。
- 節議員** 交通弱者支援の内容と増額した理由は。

25年度予算は、勝浦中学校改築工事完了などで、前年対比13%減となった。



一般会計とは別にそれぞれの目的をもって事業と経理管理が行われる会計で、税金以外の収入がある。

特別会計とは

特別会計予算

|          |           |         |           |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 国民健康保険   | 8億2,547万円 | 後期高齢者医療 | 8,411万円   |
| 簡易水道     | 4億279万円   | 勝浦病院    | 8億4,400万円 |
| 農業集落排水事業 | 2,980万円   | 物産販売    | 1,619万円   |
| 介護保険     | 7億2,873万円 | 住宅新築資金  | 60万円      |

意見書提出を議決

「生活保護基準引き下げに  
慎重な検討を求め」

- 提出者 山野議員
- 賛成者 河野、薮、森本、井出議員

大西福祉課長 高齢者のタクシーの助成制度で、25年度は制度改善をして、対象人数の増を見込んでいる。

川端議員 「県立果樹試験場跡地利用検討委員会」の結果はまだ出ていない。新年度も同じメンバーなのか。

また、貯蔵ミカンブランド化の看板100万円は高すぎる。ミカン関係者の意見を聞いてはどうか。

中田町長 跡地利用の検討委員については、幅広く意見を聞くため人選も考えた。

産業建設課長 看板については、多方面の意見を聞き設置したい。

国清議員 今後の「道の駅」の管理団体について運営委員会にも諮らず、業者委託料100万円を予算化しているが、なぜ必要なのか。

小林副町長 道の駅運営委員会に諮られていないが、予算が決まれば報告したい。業者に委託しても、少ない予算で大きな効果が出るよう努力する。

10人で  
走る

# マラソン議会(通称)

四国初! 7月スタート



議会の効率化をめざして!

## \* 「通年の会期制」に向け、関連条例等を議決



3月定例会で地方自治法改正後、四国で初めてとなる議会の「通年の会期制」導入に向けて、従来の「議会の定例会を定める条例」を廃止し、新たに「議会の会期等を定める条例」を制定。

「議会会議規則」を全部改正し、「議会委員会条例」の一部も改正しました。

これらの条例・規則の改廃により、毎年、議員の任期の初日に当たる7月10日から翌年の7月9日までの1年間を会期とします。

## \* 定期的に関く会議に「通称」を

「通年の会期制」では毎年定例日を3月に条例で定めますが、7月からスタートする日程は次のとおりで、節目の月を親しみやすい「通称」で呼ぶことも決めました。

### 〈開催月・日〉

- 25年7月「若あゆ会議」10, 23, 24, 25, 26日
- 8月会議 20日
- 9月「コスモス会議」3, 4, 5, 17, 18, 19, 20日
- 10月会議 22日
- 11月会議 19日
- 12月「みかん会議」3, 4, 5, 17, 18, 19, 20日
- 26年1月会議 21日
- 2月会議 18日
- 3月「ひな会議」4, 5, 6, 7, 17, 18, 19, 20, 24日
- 5月会議 20日
- 6月会議 24日

このように1年間の定例日を決めることで、町内における行事等も計画が立てやすくなり、議会の傍聴などに1人でも多くの方が参加してくれることも期待しております。

**「通年の会期制」ですので、定例日以外でも災害などの緊急時には、議長判断でいつでも会議を開くことができる利点があります。**

## \* 2 常任委員会を廃止

議員定数が10人と少ないことから今回、総務産建常任委員会、文教厚生常任委員会を廃止し、全員参加の本会議で議論する。

# 消防・救急体制を 那賀町に学ぶ

## 防災対策特別委員会

町民から救急患者輸送車の運行について苦情や意見が多く、議会において執行部と対応を協議してきました。

防災特別委員会（10人）では2月22日に那賀町地域防災課を訪れ、消防・救急体制の視察研修しました。

### ■今までの問題点

那賀町驚敷地区には常備消防はあるが、上流地域は非常備であった。問題点として、救急患者輸送車



丹生谷消防署

の搬送は運

転手だけで

医療従事者

が同乗しな

い場合が多

く、適切な

救助判断や

医療処置が

できない。

また、役

場職員が電

話で対応す

るため、患者の容態等の情報収集

が不十分であった。

このような状況では無処置で搬

送されており、「助かる命も失う」

と言う、極めて危険な状況にあった。



### ■救急隊設置に向けて

22年5月に「救急体制のあり方」について協議を始め、救急隊設置計画を立て、23年に新規職員を募集。県消防学校に入校し研修を重ね、24年4月から救急隊を設置し運行している。

### ■那賀町の搬送体制

出動要請を受けた患者輸送車は、まず、上那賀病院まで搬送。二次救急医療機関等への転送が必要な場合は、上那賀病院から丹生谷消防署の救急車が搬送している。



あなたの声を  
町政に！

## 25年度モニター決まる



モニターさん議場へ

身近で開かれた議会をめざすため、議会の活動などについて意見や感想、提言をいただく「議会広報モニター制度」を昨年度から実施していますが、25年度は次の方をお願いしました。

後藤雄一（沼江）  
吉岡悦子（掛谷）  
森脇和典（黒岩）  
西尾まどか（星谷）  
杉本卓司（生名）  
竹田富代（棚野）  
神原繁（中山）  
海川昌和（横瀬）  
坂口昇（与川内）  
上野美子（坂本）  
（敬称略）

ちよつと  
一言！

モニターの声

- インターネットなどで議会中継を。
- 紙面にもっと方言を使ってほしい。
- 議会だよりを、家族や知人にも勧めたい。
- 学区制で阿南へ行くのに、通学のバスがないのは問題。

## 総務産建常任委員会

3月定例会に向けて2月27日、28日に委員会を開き、条例改正や補正予算、新年度予算などについて審議しました。

### 指導員を配置

#### 救急患者輸送車

25年度から人員体制を新しく編成し、元小松島消防本部職員を指導員として配置する。

また、救急患者輸送車を2700万円で購入する。



新しく指導員となった内藤啓治さん

### 今年こそ結果を！

#### 新築賃貸住宅

#### 建設に補助

若者定住対策として、民間業者が建設する新築賃貸住宅に、一戸当たり300万円（総額3600万円まで）の補助を行う。

#### 町道改良費大幅アップ

前年度3000万円から5000万円にアップし、住民の生活道としての利便性の向上を図る。

#### 貯蔵庫新築に助成

#### 町単農業振興補助金

1425万円

農家から要望の多い農業補助金に、25年度から貯蔵庫は改修だけでなく、新築についても上限50万円を助成することになった。また、有害鳥獣の防護柵などの補助率も引き上げる。

## 文教厚生常任委員会

3月1日、4日に委員会を開き、補正予算、条例改正、25年度当初予算などを審議しました。

### 勝浦中学校体育館に 防災設備を設置

**問** 消防ポンプ1,600万円・発電機1,000万円は必要か。

**答** 避難場所としての対策が必要で、国の補正事業で行う。

### クリーンセンター解体に 1億4,000万円

解体事業に1億4,000万円の見込みであり、8,000万円を補正し積立てる。基金6,000万円と利子を活用する。

**問** 予算が積立目標の倍になっているのはなぜか。

**答** ダイオキシン対策が以前よりさらに厳しくなった。道が狭く大型車が入らない。また、アスベスト対策で工事費が割高となった。

### こどもはぐくみ医療費の助成に関する条例改正 18歳まで医療費無料化(婚姻者、勤労者を除く。)

今までは、中学校卒業まで無料であったが、25年9月から18歳まで無料となる。

### 勝浦中学校武道場 住民に開放する

使用料1時間300円（午後8時から10時まで）。



午後8時から開放される武道場

# 一般質問

## 若者定住促進に 工場誘致を

情報収集し雇用の促進を図る（町長）

山野忠男 議員



など多くの条件をクリアしなければならぬ。高齢者の雇用対策については、シルバー人材センターの協力により雇用促進に努めている。

**答 柳沢建設課長** 町内業者の採用は横瀬小学校の耐震工事では2分割の内1業者。勝中改築工事は8分割の内3業者が元請として施工した。

**問** 若者の定住促進に工場誘致が必要だ。企業関係者等からの工場誘致の情報はあるのか。

**答 中田町長** 工場誘致は企業による固定資産税や法人町民税の増収、雇用創出の経済効果があり、今後も定住促進のため情報収集し、雇用促進の取り組みを続けて行きたい。

**答 野上産業交流課長** 国・県から、年に何件か工場誘致の照会はあるが、面積要件や公共用水の確保

また、昨年創設した「杉の子基金」の利用も進め、起業家を支援して行きたい。

## 小水力発電の実証実験を

**問** 昨年、電力の固定価格買取制度ができ、全国各地で太陽光発電や小水力発電が開発されている。経済産業省や環境省、農水省に補助制度や相談窓口があるが、本町でも地域活性化のため実証実験をしては。

また、国が進める「緑の分権改革事業」とはどんなものか。

**答 伊丹企画総務課長** 補助制度は総務省の水道事業における小水力発



水車を利用した小水力発電（長野県）



町川発電所（長野県）

電事業や、経済産業省の旧水力発電開発事業があり、相談窓口としては、徳島小水力利用推進協議会や徳島再生可能エネルギー協議会がある。

**答 小林副町長** 「緑の分権改革事業」は、豊かな環境や再生可能エネルギーをはじめとする地域の活性化、絆の再生を図ることにより

持久力と富をつくり、生み出す力を高める地域主権型社会への転換を実現しようとする取り組みだ。

**答 中田町長** 今後、小水力発電にかかわらず、あらゆる再生可能エネルギーの開発に十分調査研究し、地域の熱意があれば行政として役割を果たしたい。

河野道雄議員



# PM2.5 住民周知の方法は

## 町のホームページや 防災無線で(住民課長)

**問** 環境省の専門家会合で、PM2.5(微小粒子状物質)の大気中濃度が環境基準値の2倍を超えることが予測される場合、都道府県が住民の外出の自粛を呼びかけることを柱とした指針を決定した。  
本町としてどのように取り組んで行くのか。

**答** 岩佐住民課長 呼吸器に奥深く入りやすいので、子ども、高齢者とか呼吸疾患がある人については注意してほしい。

**問** 県はホームページでデータを公表しているが、PM2.5の濃度が基準値の2倍近くなったとき、住民に対してどのような方法で周知をするのか。  
また、学校、保育園に対してはどのような対応をするのか。

**答** 岩佐住民課長 県の測定局の情報を町のホームページで知らせるようになっている。  
また、県から情報が入り

しだい防災無線で注意喚起を呼びかけたい。  
保育園については施設の判断に任せたい。

### 旧坂本トンネル 改修は

緊急対策のレベルではない(建設課長)

**問** 老朽化が進む旧坂本トンネルは、過去数回補修や補強工事がされてきたが、現状は外壁に亀裂の深いクラックが多数あり、天井や外壁から水漏れをしている。防災、減災の観点から改修の必要があるが県の対応は。

**答** 柳沢建設課長 山梨県笹子トンネルの事故後、国から総点検の指導があり、県内のトンネルの総点検で旧坂本のトンネルも実施された。

調査結果については、出入り口のライナーパネルの一部の腐食と漏水、側壁のコンクリートの浮きや骨材の露出が見受けられるが、

緊急に対策を講じなければならぬレベルではないと判断している。

県は坂本バイパストンネルができていますので、旧県道についてもバージョンアップは基本的にはできないとのことである。

**問** 坂本区域の旧県道の町道移管はいつごろになるのか。

**答** 柳沢建設課長 旧県道を町道に移管する時期について、県とは協議をしていますが、既設の橋梁などの補修完了後を考えている。



老朽化が進む旧坂本トンネル



# 孤独死をなくす取り組みを

## 地域安心サポート事業を開始（町長）

井出美智子議員



家内労働を提供する生活支援事業を試行的に実施し、声かけや見守り活動につなげて行きたい。

現在、65歳以上の独居老人は401人である。

**問** 町内で思わぬ人たちの孤独死が続いている。非常時、緊急時に助けを呼べるようになってきているのか。現在の独居老人数と、今後の取り組みはどうするか。

**答** 大西福祉課長 一人暮らしの人に配食サービスや老人クラブ、民生委員の訪問などで確認している。対策としては、買い物や

## 交通弱者対策は

**問** これまでも交通弱者対策の質問が繰り返し行われてきたが、抜本的な対策ができていない。福祉バス、スクールバスなどの今ある車の活用と、新たな施策で高齢

**答** 中田町長 25年度からシルバー人材センターと連携し、地域安心サポート事業を開始して行く。



**答** 伊丹企画総務課長 者だけでなく、いろいろな世代への活用を図れないか。用途以外の活用については、現時点では考えていない。

## 救急輸送体制の強化を

**問** 現在、患者輸送車が入れない狭い道路や、家の前まで道が通っていないところへの搬送は、小型車を導入し活用しては。

また、患者輸送車の運行について苦情や意見があるが、利用者のアンケートを実施してはどうか。

**答** 伊丹企画総務課長 小型車は改造時の安全性が確保しにくいため難しい。アンケートの実施は考えていない。

### その他の質問

○地域元氣臨時交付金について



患者輸送車が入れない狭い道

美馬友子議員



## 勝浦中学校

# 学力向上・自立支援員を

### 効果を検証して対応する（町長）

**問** 今年度勝浦中学校に導入する「学力向上・自立支援員」の職務内容と効果は。

**答 北島教育長** 教材の作成、成績処理に関わる事務、個別面談や相談、課題を抱えた生徒の支援などである。また、学力不振、不登校等の課題を抱える生徒たちに支援員を配置することで、大きな教育効果を期待している。

**問** 様々な効果を期待しているのに臨時職員雇用扱いでよいのか。

**答 坪井教育委員会事務局長** 1年間フルに配置した予算となっている。

**答 中田町長** 町独自の事業であり、子供の健全育成と合わせて学力向上に期待し、その効果を検証して対応する。



おいしんじょ！勝浦の給食

## 給食センター

### 子ども達のアレルギー対策は

**問** 県内で給食のエビを食べアレルギー症状で緊急搬送された事例があったが、給食センターではどのような対応しているのか。

**答 坪井教育委員会事務局長** 県が作成した学校生活管

理指導表を活用し、保護者と確認を持ちながら給食センターの栄養教諭が判断している。

原因となる食べ物を除いた給食を個別に用意したり、通常の給食が食べれないとかアレルギーがひどい場合などは、献立により一部だけおかずを持ってきてもらうこともある。

## クリーンセンター解体費用

### 見積もりが甘かったのでは

**問** 当初、解体費用は約1億円だったが、25年度実施段階では見通しの甘さを指摘せざるを得ない。

**答 岩佐住民課長** 基金を積んだ時は概算であり、25年度の予算として各社から見積書の提出でこの概算設計金額が決定した。

**問** 道幅が狭く、大型車の入らない町道立川線の工事期間中の対策は。

**答 柳沢建設課長** 排出量は約4000トンで、4トントラックでの運搬となる。期間を6カ月と想定して、1日に12台ということであれば問題は無いと考えている。

**問** 周囲のモニタリングや作業の安全を監視できる体制、事故発生時の地元への緊急連絡態勢はとれるのか。

**答 岩佐住民課長** 入札が終わり契約が完了した時点で地元との連絡協議会を開催し、落札業者の説明を聞き対応して行きたい。

# 農業委員に女性を

現在は考えていない（町長）

森本 守議員



**問** 戦後、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取り組みが進められてきたが、男女共同参画第一次策定からどのように実行してきたのか。

**答** 大西福祉課長 「勝浦町男女共同参画プラン」は、平成18年2月に5カ年計画として策定し、「男女共同参画社会をめざして」と題

して、毎月広報に様々な事例を掲載してきた。

また、3月6日に男女共同参画講演会を開催した。

**問** 人口の過半数は女性である。町議会には2人の女性議員がいるが、農業委員は全員男性である。上勝町の農業委員は、13人中4人が女性であり、全国では女性枠を設けて進出を求めているところもある。勝浦町も女性枠を作っているのか。

**答** 中町町長 もう少し女性の参画があれば農業政策に反映できるのではとの思いはあるが、現在は考えていない。

**問** 今年10月に阿南市で、「第30回全国女性大会」が開催されるが、県や近隣市町村の役割りはあるのか。

また、2000人も参加者があると聞くが、「ふれあいの里さかもと」「道の駅の情報館」など勝浦町

をPRするチャンスではないか。

**答** 小林副町長 県は運営費の助成や担当部長が実行委員として参加する。町のPRについては前向きに取り組みたい。



男女共同参画の講演会（福祉センター）

## ガン検診、特定検診について

**問** ガンは早期発見されれば治る時代となった。23年度から巡回ガン検診と特定検診を同時に行うことにより、受診率が県下へ伸びている。愛育班の地域

活動や担当課の努力などで相乗効果が出ている。受診率を高めるための更なる計画はあるのか。

**答** 大西福祉課長 保健予防計画で24年度以上の事業を予定している。

**答** 前田税務課長 受診されていない人全員に再度通知して受診を促しており、25年度から希望者には頸部エコーと腹部エコーの検査をおこなう。

### ■その他の質問

- 地籍調査について
- 中山・横瀬水道水現地上部について
- 徳島駅伝について

国清 一 治 議員



## 県道新浜勝浦線

# なぜ進まない改良工事

## まず用地関係者の協力を

(副町長)



改良が進まない新浜勝浦線（星谷）

**問** 新浜勝浦線は県道に認定されて約50年が経っているが、狭い箇所も多く事故が多発している。再三改良を求めているが一向に進まない。重要な通勤・通学路であり、防災面でも幹線道路であるが町の認識は。

**答** 北島教育長 児童生徒の通学路であるが、狭い箇所も多く車道と歩道の区別もないなど、安全確保ができず危険である。

**答** 伊丹企画総務課長 町内の基幹道路は徳島上

那賀線であるが、大規模災害時には再三通行止になることが多く、新浜勝浦線は緊急道路として大変重要な路線である。

**問** 県は町の要望に対し何回も現地踏査を実施しているが、道路改良がなぜ進まないのか。

また、中田町政になって7年間でどう対応し、今後どう取り組むのか。

**答** 小林副町長 新浜勝浦線は一般県道であり、厳しい県の財政状況のなかでの制約と、現在、中山工区を

改良中であり整備が完了しないと次のステップには行けない。一路線2工区の設定が難しい状況にある。県にも再三要望し、現地踏査も実施したが、まず用地関係者の協力が必要。今後、できない工区は区間設定を休止するか廃止し、用地の交渉ができることからやるなど、協議が必要である。

### どうなった 交通弱者対策

ワンコインサービス  
(町長)

**問** 交通手段がなく、買い物や役場、病院などにも行けない「交通弱者」が増えている。

町は、新年度に向けて検討すると答えてきたがどうなったのか。

**答** 大西福祉課長 現在、実施している「タクシー助成制度」は、町内の医療機関と限定しているが、柔軟

に対応しさらに充実したい。

**答** 中田町長 新年度から買い物支援や日常生活支援など、地域安心サポート事業によるワンコインサービス(500円)を実施したい。

### 税の障害者控除認定

## 要介護1まで拡大を

早い時期に対応する (町長)

**問** 現在、所得税などの確定申告で、要介護4級、5級が特別障害者に準ずるものとして税控除が認められているが、1級から3級まで拡大してはどうか。

**答** 中田町長 市町村長の裁量権で認定できるので、早い時期に利用できるように検討したい。

### その他の質問

○安心と言える防災・減災対策を  
○24年産みかんの認識

# 心配ないのか消防詰所

## 耐震化の取り組みを行う（企画総務課長）

麻植 秀樹 議員



**問** 消防詰所は地区によっては築後数十年を過ぎた建屋がほとんどである。

また、消防自動車が大形化され車庫、詰所も狭いうえ、建屋の耐震についても心配がある。早期に耐震診断を行い改善しては。

**答** 伊丹企画総務課長

町や地域の防災活動の拠点である消防詰所は、十分な耐震が必要な施設である。



耐震化が必要な消防詰所（第6分団）

耐震化ができていない詰所を優先に、地区や分団に相談し、耐震化の取り組みをして行きたい。

## 中角堤防の耐震化を

**問** 中角堤防は築堤後約60年が経過している。小規模な補修工事はしているが、抜本的な対策は取れていない。地震により堤防が崩れる心配や、洪水に対して不安がある。現時点での堤防の安全性と耐震化の予定は。

た箇所は早急に堤防の安全性を確保するために応急対策を行う。

**問** 何か起きてから動くのではなく、起きる前の対策が必要でないか。

**答** 中田町長 南海トラフ地震の発生も予測されており事前対策も必要である。県へ点検を要望して行く。

**答** 柳沢建設課長 これまで中角堤防は、漏水があると災害復旧などで対応してきた。今後も河川堤防の安全性を確保するために、日常の巡視を行い、漏水の発生など災害時には地元水防団の協力を得て、水防工事を実施するなど災害対応して行く。

地震と洪水が同時に発生することは少ないと考えられる。堤防は地震により被害を受けても復旧が容易なことから、一般的に地震による外力は考慮されていない。

地震発生後には速やかに堤防の点検を行い、被災し



いけるんで？中角堤防



## 道の駅

# 管理団体への移行は

### 25年度中は困難（副町長）

**問** 新年度予算に道の駅の受け皿となる管理団体の調査委託料100万円が計上されているが、「道の駅運営委員会」があるので必要でないか。  
また、移行時期の見通しは。

**答** 小林副町長 道の駅を発展的に運営するために、地域性などの条件のもと、適切な組織体制などを把握するために外部委託する。移行についてはできるだけ早い時期をめざすが、25年度中は困難ではないかと認識している。

## 賃貸住宅建設事業

**問** 住宅建設の補助に3600万円の予算を計上しているが、立地条件が一番重要となる。

町民への用地提供を町が呼びかける必要があるのではないか。  
また、用地提供者に対し税の優遇措置はできるのか。

**答** 伊丹企画総務課長

用地取得については原則町は介入しない。  
また、税の優遇措置についても適用しない。

## 工事発注の平準化を

**問** 新年度は国、県ともに公共工事が大幅に増え、町も防災対策や町道改良の予算が増えている。

今までは夏場に工事が少ないこともあったが、新年度は積極的に発注していかないと消化できないことになら。どのように対応するのか。

**答** 柳沢建設課長 町単工

事については、24年度積み残し分を25年度前期に発注する。  
国、県の工事も用地取得や測量が進んでいるところは早期発注する。

## 体罰防止について

**問** 教育現場での体罰が社会問題となっている。町内の学校での現状と対応策と最終責任者は誰か。

また、スポーツ少年団への指導は。

**答** 北島教育長 アンケー

トの結果、小学校、中学校で1件づつの体罰があり、関係者への対応を指示した。

スポーツ少年団の指導者へは通知を出した。

**答** 中田町長 政治的な中立性や、服務監督の責任者である教育長が最終責任者である。

## その他の質問

- 残土処理場について
- 勝浦病院会計処理について
- 学力向上、自立支援員について



早よ～できんので、工事の発注

## 定住対策

# 公約が守れない時の責任は

### 計画を実行するのみ（町長）

川端雅夫 議員



その中で業者選定したいと思っている。

また、集合住宅を前提にしているが一戸建てでもかまわない。一戸建てであれば建設費は高くなるが、入居者にとってはメリットがある。

**問** 今年度の定住対策事業として、一戸当たり300万円の12戸分を補助することであるが、業者のめどは立っているのか。  
また、集合住宅か一戸建てなのか。

**答** 中田町長 業者については色々と意見を聞く中で、情報を入手しながら検討を進めている。

**問** 町長は定住策を最重要課題として推進するとの公約である。もし実行できないとき時の責任はどう取るのか。

**答** 中田町長 成果が上がらぬよう計画の実行を一生懸命にやって行きたい。

**答** 伊丹企画総務課長 事業実施については定住の目的を条件にした要綱に基づいて、業者が企画書を提出することになっており、

## 婚活事業

### プライバシーは守れるのか

**問** 「生名ロマンの会」が4月7日婚活イベントを計画しており、町内外の男女92人が参加する予定である。町はどう協力したのか。

**答** 大西福祉課長 3月に生名の企画会議に出席し、実行委員会の中で打ち合わせをした。

**問** 参加者全員のプライバシーはどのようにして守るのか。

また、カップルが成立した時の町の対応は。

**答** 大西福祉課長 参加申し込みを受け付けた実行委員長が管理し、事業終了後に焼却する。

また、撮影の申し込みのあった民放2社、新聞記者の取材、写真は断っており、プライバシーは守れると思っ

**答** 中田町長 二人が町内

に住んでもらう時は高く評価して行きたい。

みかん

## 園地再生事業

**問** 中山間直接支払い事業に参加している園地でも減少している中で、再生事業が推進して行けるのか。

**答** 野上産業交流課長 もう一度自分の放棄地を

再生する場合に今回の事業をモデル的に実施。面積は2a以上、1a当たりで25000円を助成する。土地所有者からの申請事業でアグリネットが調査し、再生できるかどうかを町と協議し推進して行く。

### その他の質問

- 子育て支援
- トップセールス
- 新浜勝浦線



再生されたみかん園（星谷）

# ゴっついぞ!

## 勝中クラブ活動

### 人形浄瑠璃部

## 伝統を受け継ぐのは 私たち!



勝中クラブ紹介の最後を飾るのは人形浄瑠璃部です。  
徳島県の伝統芸能を受け継ぐため2、3年生の部員12名でがんばっており、もうすぐ新入部員も入ってくるので楽しみです。

#### 顧問

吉岡 敏子 先生

#### 部員紹介

3年 上野 智也  
梅山 虹穂  
大西 葉菜良  
高松 汰良  
廣瀬 萌生  
前田 芹捺  
山下 剛弥

2年 藤木 瑞穂  
松浦 由依  
溝内 響琴  
谷 茉琴  
福良 佳那子  
(敬称略)



#### 部長 高松汰良君の コメント

- 勝浦座の指導を受け、十郎兵衛屋敷の出演をめざし練習しています。



農産物の「聖域なき関税撤廃に反対」を基本に、3月15日に安部首相はTPP参加の意向を示し、4月20日、関係国から参加の了承が得られた。政府試算によると、コメなど農林水産物の国内生産額7兆1000千億円の内、3兆円が失われると言わう。全国農業生産団体は、農業の壊滅的な打撃を受けるとして前々から反対を表明している。

国は「農と食を守る」と言うがまだ道筋は見えてこない。ウルグアイラウンドの二の舞はしてほしくない。勝浦町も今から万全の対策を考えていなければならないのでは。

さて交渉の行方は。

(雅)

#### 編集後記

